



まえさと こうしん
前里 光信 議員



5番目に子育て世帯への臨時給付事業補助金で6,053万2千円。6番目に公立学校情報機器整備補助金で7,858万6千円。7番目に学校保健特別対策事業補助金で58万1千円。以上、合計すると38億7,612万円となる。

ふるさと納税について

問 ふるさと納税については、町長も重視しているが、県内外を含め、どのような活動を行っているか、その実情について質問する。

総務部長 これまで商工会に委託をしていた返礼品開発業務を、民間事業者に変更している。ポータルサイト一括代行方式で見直していて、全国向けにはふるさと納税ポータルサイトの契約数を増やし、西原町の返礼品の露出の機会を増やそうと考えているところである。

き授業時数を確保し、無理せず授業を進めることと考える。そのため、本町の学校では夏休みを短縮して19日間、約114時間の授業時数の確保を図った。次に大切なことは、児童生徒一人一人の学習内容の定着を図ること及び学習内容の理解が不十分な児童生徒への対応である。各学校では朝学習で宿題、家庭学習の内容、量の工夫を行い学習内容の定着を図る取り組みを行っている。放課後に一斉、または個別での補習を行っている。学校再開後に児童生徒の心身の健康アンケートを実施した。日々の健康管理については毎朝、生徒一人一人の体温を確認し体調管理を行っている。

その他の質問
●新型コロナウイルス感染拡大防止の為に西原町独自（単独）の事業について
●PCR検査の町への相談、南部保健所とのやりとり



児童生徒への十分なケアを！

新型コロナウイルス感染拡大防止の件

問 新型コロナウイルス感染拡大防止につき、今回が交付した事業名と、それに伴う予算はどれほどか示されたい。

総務部長 国が交付する予算は7種類の国庫補助事業がある。1番目に新型コロナウイルス感染症対策特別定額給付金事業で35億8,716万5千円。2番目に、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金で1億2,746万6千円。3番目に、新型コロナウイルス感染症対策事業費国庫補助金で801万2千円。4番目に、子ども・子育て支援交付金国庫補助金で1,377万8千円。



おおしろ よしたか
大城 純孝 議員



中学校の休校など感染防止対策の実施を行った。

問 新型コロナウイルス対策事業の取り組みについて伺う。

総務部長 関連事業については当初予備費の活用として先行実施し、補正予算で各種事業を進めているところである。進捗状況として学校や役場庁舎で備蓄として必要なマスク、消毒液の購入、保育施設等の利用料、給食費の免除を進めている。又、水道料金に加え下水道基本料金の半額免除を6月から実施する。中小企業への支援金支給に伴う申請の受付も実施するところである。

問 特別定額給付金事業の進捗について伺う。

総務部長 5月28日に第1回の給付を開始し6月19日振込予定までの給付決定が1万1,846件で、全対象世帯1万4,900件に対して給付決定率は79.5%となっている。又、6月8日現在の受理件数は1万2,509件で当該受理件数に対する給付決定率は94.7%となっている。

西原町議補欠選挙と町長選挙について

問 3期町長を務めて12年間だが、勇退される町長の思いを伺う。補欠選挙に臨む新しい議員

や新町長に対して望むことを伺う。

町長 町民目線で町民の声をいかに町政に反映させ、暮らしやすい地域社会を実現することに他ならないと考えている。

問 財政悪化に伴うことで町長の思いはどのようなか伺う。これまで財政悪化は国保会計の赤字問題だと聞いていたが、この財政悪化に対する3期中での思いを伺う。

町長 国保の累積赤字の状況が続き、結果として町民の声を十分反映できずごんきに堪えないと思う。敬老祝い金について、地域も変わり人の価値観も変わり、減額せざるを得ないことを残念に思っている。

その他の質問
●兼久東崎線の道路予定地の放置車両とゴミ問題について
●地域の空き家問題について



兼久東崎線の放置車両（一部加工）